

令和5年度 山梨大学・北杜市連携事業 芸術文化講座

アートのしくみ

— 見る・感じる・表現する —

日常の中の光と影を楽しむワークショップを開催します。太陽の光や電気の光、色々な光があるように、影も色々な影があります。身近な光と影を通して、自分だけの美しい形を見つけるワークショップです。



- ファシリテーター：栗山 由加 (美術家)
- コーディネーター：井坂 健一郎 (山梨大学大学院 芸術身体教育講座 教授)
- 開催日：令和6年 2月11日(日)・12日(月・祝)
※両日も、13:00からと15:00からの2回ずつ(各回1時間程度)
※各回10名まで参加可能(計40名)
(ワークショップでの作品は、2月13日(火)～15日(木)まで会場にて展示します)
- 会場：元麻布ギャラリー甲府
(甲府市丸の内2-3-2 東横イン甲府駅南II 1階)
- 対象者：小学生以上



参加費無料・参加申込不要・先着順

(感染症予防のため入場制限をする場合があります。)

ファシリテーター略歴

栗山 由加(くりやま ゆか)

山梨大学教育人間科学部卒業、東京藝術大学大学院美術研究科修了。在学時より子どもの造形活動に関心を持ち、これまで山梨県立美術館、国立科学博物館など、子どもを対象としたワークショップを数多く開催。作品制作とともに、国内外の保育現場の視察を行いつつ、子どもの造形表現と探究活動のあり方について実践研究を行なっている。現在、東京成徳大学、東京成徳短期大学、東京家政大学、玉川大学にて非常勤講師。